

「最優秀新人賞」と「ゴールデン・クラブ賞」

プロ野球読売巨人軍外野手

松本 哲也さん(野球部) うれしいダブル受賞

都合により
写真を掲載
いたしません
紙面をご覧ください

今年度のプロ野球ペナントレース表彰選手が発表され、野球部OBの松本哲也さんが新人王(11月18日表彰)とゴールデン・クラブ賞(11月10日発表、30日表彰)を受賞した。

松本さんは、2006年育成ドラフト3巡目で読売巨人軍に入団。07年、巨人軍初の育成出身支配下登録選手となり、08年に1軍デビュー。今シーズンは開幕1軍入りを果たすと、自慢の走力を攻守に生かしたプレーでチームに貢献。シーズン中盤からは2番打者として定着した。出場試合数129、規定打席には達しなかったが、打率・293の好結果を残した。

受賞に際しては「新人王は一生に一度しかもらえない」と力強く語った。専大野球部には「1部復帰は決して遠くない目標だと思う。頑張っていきたい」とエールを送った。(菅井 規史・商1)



▲ 決勝でフォールを狙う荒木田 (撮影・庄司)

レスリング・全日本大学選手権

120kg級 荒木田 3年ぶり優勝

3年次生2人準優勝 団体2位

内閣総理大臣杯全日本大学レスリング選手権(フリースタイルのみ)が11月14、15日、大阪・堺市金岡公園体育館で行われ、120kg級で荒木田進謙主将(経済4・光星学院高)が3年ぶりの優勝を果たした。

また、74kg級で江藤公洋(経営3・福島高)が、84kg級で鈴木聖二(経営3・岐阜工高)が準優勝、66kg級で佐々木渉(法4・秋田商高)が7位となり、大学対抗得点別でも2位と健闘した。

荒木田は昨年、全日本選手権(以下、全日本)で優勝し、全日本チャンピオンとなったが、学生の大会では山梨学院大のムジコフにタイトルを持っていかれてしまった。今大会では準々決勝で2年連続学生4冠を狙うムジコフを撃破。当

たると知った時は驚いたが、ムジコフに勝てば優勝できると思ったので、とにかく勝つことだけを考えた」と振り返る。その後は、準決勝が開始40秒、決勝が1分22秒でもにフォール勝ちと、圧倒的な強さを発揮した。「学生最後の大会で優勝し、最低限の目標が達成できた。3年次生2人が準優勝し、団体でも2位になった。12月の全日本でも優勝を目指して頑張ります」と話した。

江藤は「全日本学生同様、2位という結果で悔しいが、接戦をものにするようになるなど、成長が実感できた。全日本までに自分の力をもっと引き上げていきたい」と話し、鈴木は「決勝は1年前には勝った相手だった。今回も勝ちたか

大会結果 予定は変更ありホームページ(専大ホームページ「スポーツ」からログイン)で確認ください
専大スポーツ Web (http://sensuop.web.c.ac.jp) 専大事務局を配信しています

専大スポーツ

No.285

馬術・全日本学生 団体総合 3位に入賞

坂田(個人)減点ゼロで初優勝



▲ 見事にジャンプオフを制した坂田とギャレストロ号

全日本学生馬術競技大会(障害飛越)が行われた。全日本学生三大大会(全日本学生三大大会)が10月31日から11月4日まで、JRA馬事公馬術の3大会が並行して

行われ、総合成績で大学馬術の頂点を争う。専大は障害飛越で3位、馬場馬術で5位となり、団体総合で3位に入賞した。

個人では、障害飛越で坂田篤司(経済1・クラ



▲ 賞状を手に喜びの松尾(左)

スピードスケート・真駒内選抜 男子3000メートルで松尾2位

真駒内選抜スピードスケート競技会が11月28、29の両日、北海道真駒内屋外競技場で行われた。年末の五輪代表選考会での日本代表入りを目指す強豪が集うなか、男子3000メートルで松尾駿(経済2・八戸西高)がトップとコマ41差の4分12秒80で2位となった。

また、同5000メートルで松尾駿(経営3・白樺学園高)が6位、同1万メートルで竹田翔平(経営1・駒大苫小牧高)が5位となり、長距離陣が健闘。短距離では、同1000メートルで山越竜輔(経済3・福高)が6位に入賞した。

その他の主な結果は次の通り。

【男子5000メートル】山越竜輔(経済3) 9位【同3000メートル】佐山敏幸(経営4・池田高) 8位【同5000メートル】佐山8位、松尾9位

男子 サイブル 佐賀が準優勝

男子団体 サイブル、エペ準優勝



▲ 準優勝を果たした佐賀(左)

フェンシングの全日本大学対抗選手権・全日本学生個人選手権が11月8、9日、駒沢屋内球技場で行われた。個人は男子サイブルで佐賀大輔(経済4・北秋田市立合川高)が準優勝。団体では男子がサイブル、エペの2種目で準優勝、女子がフルール、サイブルで3位となった。この結果、男女合わせて個人5人、団体4種目が全日本選手権(12月23、27日、千葉県松戸市運動公園体育館)の出場を決めた。

佐賀は個人戦を振り返り、「結果が出てよかった。声を出し、自分の中で気持ちを盛り上げて試合に臨めた」と語った。また男子フルール個人で、連覇がかかっていた阪野弘和主将(経済4・武生商高)は準決勝で敗れ、4位に終わった。「自分の世代の3強と並んでベスト4に入れたこと誇りに思う」とすがすがしく語った。

女子の森美奈子主将(経済4・翔陽高)は2回戦から厳しい試合が続いたが、みんなよく我慢したと思う。全日本では、初戦突破を目標に挑戦する気持ちで頑張ります」と語った。

その他の主な結果は次の通り。

【女子フルール個人】佐賀美咲(文2・聖霊女子短大附高) 4位、庄子美樹(文3・仙台南高) 7位 (森住綾 9位)